

雪国の植物 ユキツバキ 12

ユキツバキの分布上限地域の植物—名立町不動山の場合

石 沢 進

ユキツバキの分布上限に生育する植物を明らかにすることは、ユキツバキの分布限界の環境や特色を知ることにつながると考え、注目して観察を続けている。分布上限の植物は、地域により異なり、また同じ山体でも尾根や沢によって異なる。それぞれの山体ごとに記録をとり、総括する必要がある。この夏、西頸城郡名立町不動山に登る機会があり、ユキツバキの分布上限地域の植物を調べたが、その結果を示すと次のようである。

ユキツバキの分布上限に生育する植物

木本：(高木) ミズナラ、アカイタヤ、(低木) ヒメヤシ、ツノハシバミ、オオバクロモジ、ミヤマカラムツ、ノリウツギ、ウワミズザクラ、キハダ、ヤマモミジ、テツカエデ、ヒメモチ、ハイイヌツゲ、ミヤマスマシレ、ヒメアオキ、アオダモ、ミヤマガマズミ、タニウツギ、チシマザサ

つる：クロヅル、ツタウルシ

草本：ケイタドリ、シラネアオイ、ヤグルマソウ、トチバニンジン、アマニュー、イワカガミ、クロバナヒキオコシ、テンニンソウ、ツルニンジン、ヒトツバヨモギ、クルマバハグマ、オオカニコウモリ、ナンブアザミ、ホウチャクソウ、ツクバネソウ、タチシオデ、マイズルソウ、ユキザサ、キクバドコロ、ヒメノガリヤス、ミヤマカンスゲ、ホソバカンスゲ、タガネソウ、アケボノシュスラン

シダ：ヤマソテツ、ゼンマイ、ヘビノネゴザ、シラネワラビ、ミヤマイタチシダ、オオバショリマ、ナライシダ

上記のうち、ユキツバキの分布と同様にほぼ上限となっている植物には、ヒメモチ、ハイイヌツゲ、ヒメアオキ、ユキザサなどがある。

この山体におけるユキツバキの分布と亜高山性の植物との関連について、ユキツバキの分布上限より高いところに分布している植物とそれ以下にみられるものとを区分して示すと次のようである。

ユキツバキの分布上限から上方に偏って生育する植物

ミネヤナギ、カラマツソウ、ハナチダケサシ、エチゴツルキジムシロ、ヒロハツリバナ、イブキセリモドキ、オオバノヨツバムグラ、ホソイノデ

ユキツバキの分布上限以下にも生育する亜高山性の植物

ミネカエデ、オガラバナ、ミヤマスマシレ、ヒトツバヨモギ、ツバメオモト、マイズルソウ、タケシマラン、シラネワラビ

ユキツバキの分布限界地やその付近まで生育している亜高山性の植物が比較的多くみられ、生態分布上興味深い一面である。

山体によってユキツバキの上限付近に生育する植物の違いやユキツバキとそれぞれの種との共存・離反の実態などお気付きの情報を寄せていただければ幸いである。



ユキツバキとシラネワラビの混生